

2学期授業

忍野小中 対策講じ対面
英和中・高はオンライン

忍野村の忍野小と忍野中で23日、新型コロナウイルス感染症対策に気を配りながら2学期が本格的にスタートした。1学期に比べて検温など予防対策を徹底させ、対面での授業を始めた。

忍野小では、登校してきた全児童への検温を開始。午前7時45分ごろ児童が登校してくると、教職員が校舎の玄関3カ所に立つて、体温計を児童の額に当てて体温を確認した。37度以上ある児童は保健

室で再度検温し、様子を見ながら帰宅させるなどの措置を取るといふ。この日は発熱を確認した児童はいなかった。深沢真人教頭は「感染拡大が続く中、改めて対策の基本

を徹底していきたい」と話している。

一方、山梨英和中・高は、10代の感染者が増えていることなどを踏まえ、24日からオンラインで授業を行うことを決めた。始業日の23日は生徒が1人1台持つているタブレット端末の確認やオンライン授業の説明を行った。27日まで行い、期末試験終了後の9月6日から全学年で対面形式の授業に戻す予定という。

県教委によると、23日は県内の公立小中学校23校で始業式が行われた。

〈笠井曇弥、坂本尚己〉